

天竜美林に映える小舟

1) 施設名 (用途)	tayutau - HUT (たゆたう・はっと) (ギャラリー・住宅)
2) 所在地	浜松市天竜区船明 385-1
3) 事業実施主体	栗原 将
4) 設計者	有限会社 石牧建築一級建築士事務所 しましま設計 (浜松市)
5) 施工者	有限会社 石牧建築 (浜松市)
6) 施工期間	平成 30 年 11 月～平成 31 年 4 月
7) 施設概要	建設地は、天竜美林の玄関口、製材工場が集積する天竜区船明地区。施設は、ガラス工芸作家のギャラリー兼住宅で、山村に建つ小舟のようなイメージで低く、小さく設計・施工された。ギャラリーでは常設展以外にアトリエ主催の個展が開催され、工芸作品に興味を持つ来場者に木の建築と作品の親和性を感じてもらえるように、すみずみまできめ細やかな配慮がなされている。
8) 規模 (延面積)	軸組木造平屋建て (119.25 m ²)
9) 主な使用樹種	構造材：スギ、ヒノキ (静岡県産・森林認証材) 床・天井材：スギ (静岡県産)、クリ (岐阜県産)
10) 施設の特徴等	用途開発が急がれるスギ大径木から 2 本の梁材を木取り、片面化粧材として使用し、また、樽・受水槽用に製材された 75×120 mm材を構造用の登り梁(垂木)として活用、建築コストの抑制を図りながら美しい屋根構面が構成された。そのほか、外壁への焼きスギ板、ねじれ材を修正挽きせず柱材とし、デッキと木塀にはサーモウッドが使用されるなどメンテナンスへの配慮もなされ、来訪者が様々な樹種と木肌を実感できる巧みな仕上げとなっている。 なお、一連のコンセプトが評価され「第 3 回ふじのくに木使い建築施設表彰」で最優秀賞 (県知事賞) が授与された。

【施設の画像】

上段：施設外観 (山並みに映える焼杉の外壁)

下段：ギャラリー (杉大径木の芯取り梁、入口戸の栗斫(はつ)り仕上げ、杉天井板と漆喰壁)

